

平成19年度 第4回 府中市男女共同参画推進懇談会
議 事 録

1 日 時 平成19年11月8日(金) 午後7時～9時

2 場 所 女性センター 第1会議室

3 出 席

(1) 委員

小西(厚)委員長、打林委員、五座委員、後藤委員、小西(さ)委員、島野委員、
平井委員、村野委員、矢島委員、吉田委員

(2) 事務局

松井男女共同参画推進係長、江内田事務職員

4 傍聴者 なし

5 会議内容

(1) 開会

(2) 前回議事録の確認

承認

(3) 報告事項

諸橋副委員長、北川委員が欠席。

12月1日(土)・2日(日)に、女性センターを会場に第21回府中市男女共同参画推進フォーラムが開催されます。

(4) 配布資料確認

資料1 府中市における女性の視点でとらえた防災対策(第2案)

資料2 柱立てについての意見(小西さつき委員)

資料3 大井消防署 「防火のつどい」開催のお知らせ

防災14 静岡県男女共同参画センター情報誌「ねっとわあく」51号

防災15 府中市地域防災計画(素案)のパブリックコメントの手続き

防災16 滋賀県男女共同参画情報誌「G-NETしが」11号

(5) 協議事項

① 新たな取組を必要とする防災分野における男女共同参画の推進について

報告をどのようにまとめるかについては、柱立てごとに原稿作成者の割り振りを行うこととなった。

資料1にある項目ごとに、報告書の作成担当者を次のとおりとした。

項目1 防災・災害・復興対策検討の場への女性の参画

【担当】矢島委員

項目2 防災面及び災害時における女性からの意見聴取

ア 防災面について

【担当】吉田委員、村野委員

イ 災害時について

【担当】島野委員、平井委員

ウ 復興期

【担当】五座委員、小西さつき委員

項目3 災害発生時の各種対応マニュアルを女性の視点から作成、もしくは総括・まとめ

この項目は、項目1及び2ですべてまとめられるので削除する。

報告書のとりまとめは小西委員長が行うこととしたが、この他の委員も、学識・労政・保健・経済等のそれぞれの専門分野から全体を見る立場として、報告書の作成に携わることとした。

その他、今回の会議で出された意見等については次のとおり。

- ・ 資料1の1-③ 自治会・地域のコミュニティの中の防災組織への女性の参画、について。地域コミュニティがあるところと、すでにコミュニティがない地域があることも考慮して、自治体の指示命令系統の確立が重要となる。
- ・ 震災が日中に発生した場合は、多くの場合、女性だけで対応せざるを得ない事態になってしまうので、女性でも「初動は自分で」という気持ちを持ってもらうことが重要。
- ・ 構成比が男性に偏りがちな委員会委員の選出については、「組織の長」を選出してもらうのではなく、あらかじめ男女比を決めておくということもよいのではないか。
- ・ 資料1の2-【復興期】について、情報発信についての体制確立やデマ・流言の防止が重要である。
- ・ 災害は、雇用を増やすことにもなる。色んなものを復旧させなくてはいけないので、むしろ需要は高まる傾向にある。しかし、例えば、年収の3分の1が保障される仕組等もあまり知られていないなど、周知の方法等に問題があるのではないだろうか。
- ・ ボランティアは不足している、と言われているが、その内容はビジネスになるのではないか。また、ボランティア・コーディネーターの重要性や有効活用の仕方について知る必要がある。
- ・ シェルターや強かん救済センター等の設置は、ぜひ入れておくべき内容ではないか。当初は、あまり信じられなかったが、現在でもレイプ被害はゼロではな

いことと、平常時の被災時の治安度合いが被災時に向上するとも思えないことで、教育等による災害・防災についての啓発活動も必要なのではないかとと思われる。

- ・ 保育園の園庭開放などにより、避難所にいなくてはならない母親の抱える育児ストレスの減少が見られたが、これらは虐待の防止にもつながる活動でもある。
- ・ 資料２－女性の視点から見た日頃の備え－２.被災地救援に女性職員を派遣し現状を学ぶ、について、被災地で学んだことを実行できれば、フィードバックが適切に行われるのではないか。文献で学ぶよりも、実地で学んだ人の話を聞いた方が、より真実味がある。

(6) その他

- ① 報告書原稿の担当者（複数の場合は担当者同士で協議）は、1月15日（火）までに方法はメール・FAXなどを利用して、事務局へ提出すること。（次回会議では、それらを元に検討をしたい。）

- ② 次回の会議日程について

日時：平成20年1月24日（木）午後7時～

場所：女性センター 第1会議室

(7) 閉会